

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和3年9月10日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから9月10日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿いまして、御説明をいたします。

まず、2ページ目、9月14日の（4）第415回核燃料施設等の審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目は京都大学臨界実験装置についてでありまして、前回のコメントへの回答に加えまして、8月25日の委員会で手続漏れというのが説明されていたと思いますけれども、トリウムの貯蔵について手続が漏れていたということがありましたが、その件についてということになります。

2つ目が、JAEAのSTACY原子炉施設の設計工事計画認可についてということで、こちらは7月30日に申請があったもので、今回が初の会合ということになります。

次、同じく9月14日の（6）第1003回審査会合です。

こちらは、議題は女川の工事計画認可についてということになります。6月と7月の審査会合で出ました建屋の耐震性などについてのコメントへの回答ということになります。

次に3ページ目に行きまして、9月16日の（9）第23回廃止措置計画に係る審査会合です。

こちらの議題は、美浜の1、2号炉の廃止措置計画についてということで、こちらは7月29日に申請がありまして、今回が初会合というものになります。

次が、9月16日の（10）炉安審、燃安審の基本部会の合同会合ということになります。

議題は3つありまして、1つ目、安全性向上評価についてということで、こちらは九州電力に取組を説明いただきまして、意見交換をするということになります。

2つ目の、原子炉規制検査の実施状況と、議題の3つ目、事故・トラブルや規制動向を踏まえた対応、これは定例的なものでありまして、検査の実施状況とか技術情報検討会の結果を事務局から説明して審議をするというものになります。

次が、9月17日の（11）第1004回審査会合です。こちらは非公開です。

議題は、東海第二の特重施設についてということになります。5月、7月の会合で出たコメントへの回答ということになります。

次が、9月17日の（12）第1005回審査会合です。

こちらは、議題は東通発電所の地震動評価についてということで、これも2月の会合で出ました断層の評価などについてのコメントへの回答ということになります。

説明は以上です。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—